

可能な範囲で間欠運転に見直しましょう。

換気ファンは、室内環境を改善を目的として、空気の入れ替えをするために運用されていますが、室内を利用していない時間帯に運転されていたり、適正な温度設定による運転を行っていない場合があります。

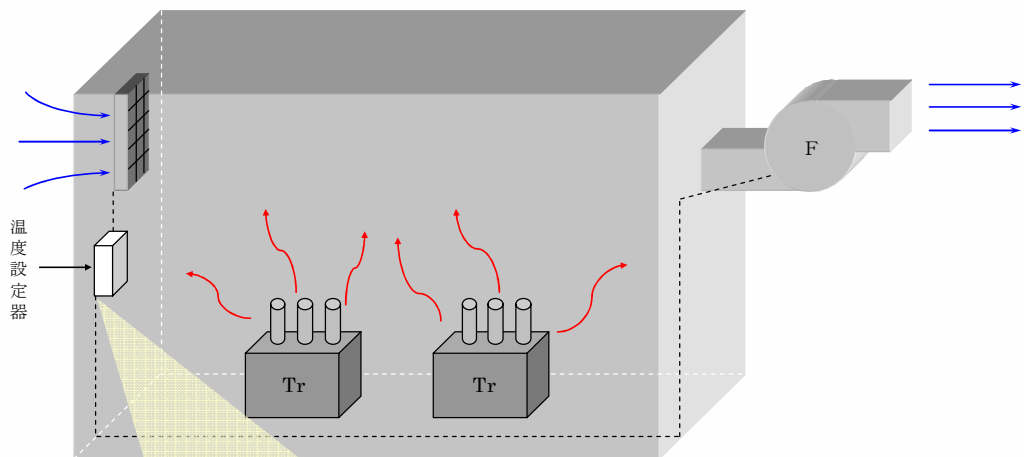
そこで、利用していない時間帯の運用停止や適正な温度設定を行うことで、ファンの間欠運転による省エネを図ります。

対策例

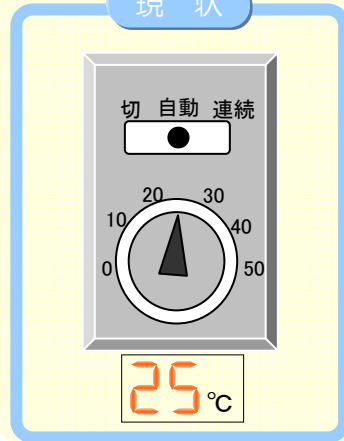
＜室内温度設定によるファン発停の場合（電気室の例）＞

→ : 変圧器からの発生熱

→ : 給排気ファンによる熱流入出



現状



対策後



システム導入のポイント

- ・エレベータ機械室や電気室の室内許容最高温度は、建築基準法より40℃と定められています。
- ・使用しない時間帯の運用停止対策の一つとして、発停タイマーの導入による自動化があります。